



保育園には毎日、育児を頑張るお母さん、お父さんがやってきます。にかほ市でF・F推進員として活躍する柴田禮子さんが、にかほ保育園の園長である三浦京子さんに、保育園から考える男女共同参画についてインタビューしました。

## 男女共同インタビュー 園長先生に聞きました

**柴田：**毎日のように育児を頑張っている保護者の方々と接していると思いますが、一昔前と比べ、変化を感じることはありますか？

**園長：**にかほ保育園は午前7時から延長保育を含めると午後7時まで開園しています。一昔前は、育児だけでなくお父さんが保育園に行くことにも抵抗があったようですが、最近は共働きも多いため、朝や帰りの送迎に限らず、子どもの体調が悪くなった時や行事の時なども積極的にお父さんが来るようになりました。

**柴田：**全国的にも核家族化が進んでいますが、この核家族化が男性の育児や家事への参加に影響を与えているのでしょうか？

**園長：**にかほ保育園は平成8年に開園しましたが、その頃は周辺ほとんどが田んぼでした。その後、田んぼが分譲地となり住宅地がどんどん増えるにつれ、核家族世帯も増加したように感じます。現在、当園には180世帯、219人の園児がおりますが、180世帯のうち61%が核家族世帯です。園児の会話の中でも、お父さんと遊んだことや、お出かけした話を聞くことが多くなったので、お父さんと一緒に居る時間も増えてきていると感じます。

**柴田：**保育園や幼稚園は、女性職員の割合が多い職場だと思いますが、今後、男性保育士の必要性も増えてくるのでしょうか？

**園長：**男性の保育士がいると、女性の保育士とは違う視点で子ども達を見ているので、より多くのことに気づくようになりますね。

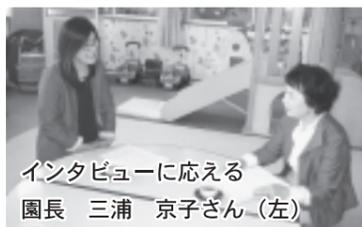
**柴田：**にかほ保育園では、女性保育士の出産や育児に対してどのような支援体制をとっていますか？

**園長：**当園には、正職員とパート職員で約50人のスタッフがいます。これから出産を迎える職員もいますし、小さい子どもを育てている職員もいます。出産や子供の通院などで休暇が必要な時は、周りのスタッフでカバーし、希望に沿った産休などを取れるような体制を作っています。

**柴田：**最後に、にかほ市では平成24年3月から、第2回にかほ市男女共同参画計画がスタートしていますが、一人ひとりが幸せな社会の実現のために必要なこと、男性や女性を問わずに期待することがあればお聞かせください。

**園長：**一人ひとりの幸せの価値観は違うと思いますが、男女や年齢を問わず皆さんが地域の行事などに参加することによって様々なつながりが出てくるのではないのでしょうか。当園では近くに高齢者福祉施設もあり、園児と高齢者が交流する機会があります。核家族が増え、お互いに接する機会が少なくなっている中で、交流の機会をととても楽しみにしています。

**柴田：**貴重なご意見ありがとうございました。これからも男女共同参画の推進にご協力をお願いします。



インタビューに答える  
園長 三浦 京子さん(左)

問合先 県男女共同参画課  
☎018・860・1555

「男女イキイキ職場宣言 事業所」の募集について  
県では女性の能力活用やワーク・ライフ・バランスの推進などの取り組みを行う事業所等と「男女イキイキ職場推進協定」を結び、その取り組み内容のPRを行っています。また、仕事と育児・家庭の両立支援に取り組む企業への奨励金制度を設け、応援も行っていきます。  
※にかほ市では6事業所が協定を結んでいます。

あきたF・F推進員の募集について  
「あきたF・F推進員」とは、男女共同参画社会の実現に向けて各市町村での取り組みや地域活動が活発に行われるよう、推進的な役割を担うリーダーです。  
現在、にかほ市では4名の推進員が活動しています。また、F・F推進員の認定を受けるためには研修が必要になります。興味のある方はお問い合わせください。



### 男女共同参画ってなに？

一昔前、女は「家庭」、男は「仕事」の考え方が大半を占めていました。また、そうした生き方を選択する事は自由です。しかし、女性が仕事で輝いたり、男性が家事を頑張ったりと、人生における様々な局面で「仕事と家庭の比重」を変えらるなど、多様な生き方ができることも大切です。

男女共同参画は「男らしさ」、「女らしさ」の否定ではなく、性の特性を認めたくえで機会均等な社会の実現を目指すもので、すべての人が多様な生き方が認められ、それが支援される社会を作り上げていくものです。

### にかほ市での 男女共同参画への取り組み

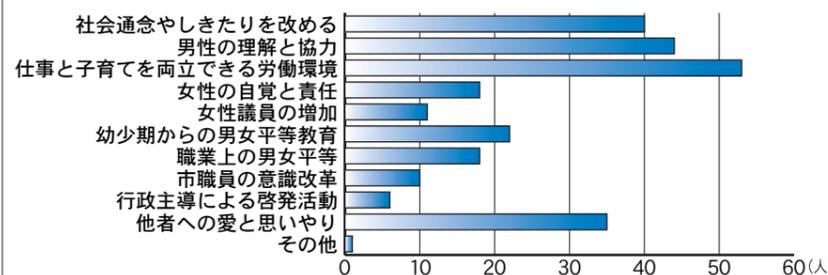
にかほ市では、女性と男性が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画し、ともに責任を分かち合う男女共同参画社会の実現を目指して、平成24年3月から5カ年の第2次計画を進めています。

### 男女共同参画社会実現に向けた主な取り組み

- ① 男女共同参画に向けた意識改革  
セクシャル・ハラスメントおよびパワー・ハラスメントの防止対策の推進  
家庭や学校、社会における男女平等の意識づくり
- ② 政策・方針決定過程への女性の参画拡大  
女性意見の反映や教育等を通じた女性の人材育成  
市の委員会、審議会への女性委員の参画促進
- ③ 家庭・職場・地域において多様な生き方が選択できる環境の整備  
ワーク・ライフ・バランスの実現  
あらゆる産業への女性の参画拡大
- ④ 男女共同参画による健康長寿社会の実現  
生涯を通じた男女の健康づくりへの支援

平成24年度にかほ市男女共同参画講演会アンケートより（回答者107人／3項目選択）

### 男女共同参画社会実現のためには、何が重要だと思いますか？



### ◆耳よりニュース

県が20歳以上の県民を対象に実施した2012年度「男女の意識と生活実態調査」において「男は仕事、女は家庭」という考え方に対し男性の53.1%が反対と回答し、データが残る1997年度以降、初めて過半数を上回りました。また、女性の反対は63.5%と過去最高となりました。